



ハロウィーン。もともと日本のおまつりではありませんが、最近はどこを見ても可愛いかぼちゃなどの飾りがあります。ポーポキは白いねこですが、ハロウィーンに黒い毛皮でも着てみるかもしれません。

Popoki's Hot News!



平和と健康と一緒に考えませんか？

11月16日に平和と健康について考えるイベントが開催されます。
会場は兵庫医療大学。お待ちしております！



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちの **正悟にゃん** から届いた平和：

「夜、街が寝ている時間に一人で音楽を聴きながら散歩に行くとき、平和を感じます。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !



ポーポキと友だちがラジオに！

ポーポキと友だちがグアムのKPRGラジオに出演しました！

“Beyond the Fence” という、現在グアム島で起こっている軍事拡張について議論するための番組です。聞くもしくはダウンロードするには、次のサイトでEpisode 165, What is the color of Peace?” をクリックしてください。 <http://kprg.podbean.com/>



いつもご協力、ありがとうございます！

『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』
(エピック 2012)はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいです！

* 神戸 YMCA でも販売していますよ！ 本については、
<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。



「9 条世界会議 2013」

ゆりにゃん（木本友里）

もりにゃん（森 恭子）

10 月 14 日に行われた 9 条世界会議は日本国憲法第 9 条と平和の大切さを伝え、考える集会でした。海外・国内ゲストスピーチでは多方面で平和活動をされている方のお話の中で、武力で平和は作れない、平和を作る為に誰かが犠牲になってはいけないという思いが溢れていました。

アメリカに 9 条を入れるべきだと運動されている映画監督の話、被爆者の就寝前に浮かび上がる原爆投下後の風景の話を聞きました。9 条の大切さを発信し、維持する事が、将来の子供達から戦争経験を無くす方法になるのだと思いました。

その他にも、イラク戦争、福島第一原発事故、沖縄の基地、世界の貧困等、数多くの問題に対して平和活動している方達の話も聞ける集会でした。

今回の 9 条世界会議での多すぎる情報量に脳が対処できてないですが、勉強して、情報を理解したいと思います。来場者の中に若者が少なかったので、9 条と平和に対して関心を持つ人が増え、原爆と原発の被害を経験した日本から更に平和をアピールできる国になればと思いました。

また、ポーポキのブースも大人気！！他の活動団体が訴えと主張をするなかで、ポーポキは、平和の色は何？とゆっくりと問いかけます。相手への問いかけは、あなたを尊重しているというサインであり、あなたの意見を聞きたいというサインであり、あなたの意見は大切だというサインでもあると思います。自分のことを聞いてくれているということに、安心や嬉しさを感じるのではないのでしょうか。問いかけからはじまる平和。そんなことを感じた 1 日でした。





* ポーポキのインタビュー *

「はじめての東北ボランティアバス」

もりにゃん(森 恭子)

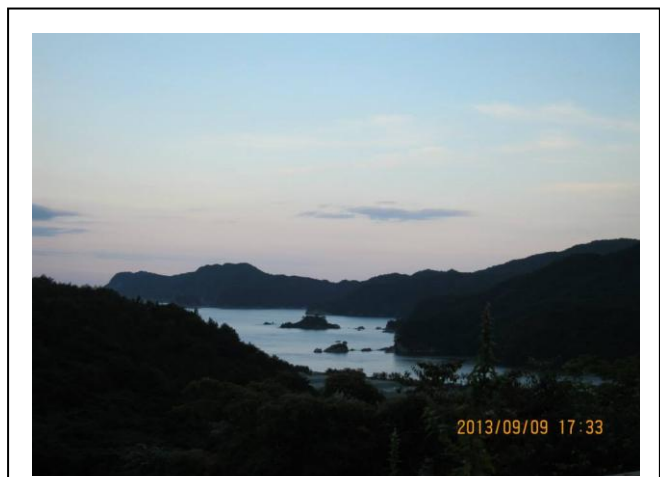
9月6日～10日にかけて、初めて東日本大震災の被災地となった岩手県釜石市を訪れました。現在働いている神戸大学学生ボランティア支援室では、岩手県にボランティアバスを出し、被災地支援の目的で学生の派遣を行っています。すでに、16回の派遣が行われています。今回、私はこのボランティアバスに同行し、学生のみなさんと一緒に支援活動に行ってきました。

今回、わたしは派遣の途中からの参加だったこともあり、釜石に到着して活動のために町を車で移動していても、さっぱり街の様子がわかりませんでした。すでに何度も派遣にきている学生は、ずいぶん街の様子にも詳しいです。ときどき、あの山のように見えるのはガレキの山に草が生えてきている状態なんだ、と教えてくれたりしました。何もわからない私を気遣ってくれた学生が、移動ではない時間にかつての街中を案内してくれました。そこには、通り過ぎる車窓からは見過ごしていた、手付かずに残っている破壊された建物や、決壊した堤防、流されてしまった街の中心にある駅のホーム、そして献花台。現地に到着して数日後に、初めて私はあったはずの街並みを意識することができました。そして、まっすぐな道だけが残る荒地をみて、かつてどんな街並みだったのかと想いを馳せました。

私の故郷に帰省するたびに、街並みがずいぶんと変わっていきます。そのたびに、自分の記憶が追えなくなる寂しさを感じます。92歳になる祖母の実家は取り壊しになり、更地となった家の前で1本だけ残る松をみて、寂しそうにしている姿を私は忘れられません。街並みや建物は、人の人生とともにあるのだと感じます。釜石のすっかり変わった街並みをみて、記憶を辿れない悲しみがほんの少し、私の中でつながりました。

ボランティアバス派遣の活動では、各地の仮設をまわり足湯ボランティアや裁縫を一緒にやったりします。また、被災当時の様子を記録する聞き取り調査も行っています。今回、調査にも参加させていただき、お話を聞くことができました。印象に残っているのは、戦争の音と津波の音が一緒、というお話です。戦争のときの爆撃音と、津波で家が壊されているときの音が重なって、また、戦争が始まった！と思ったと話してくださいました。こうした貴重な体験についても直接お話を伺うことができました。

生きてきた証を大きく失ってしまった一方で、まさに、今、生きている証をわたしたちの記憶にも刻んでいきたいと思いました。



Dear ポーポキ

今回、私たち 7 人の仲間は六甲道のギャラリー「花六甲」で刺繍展を行いました。そのメンバーのお一人に神戸大学の瀬口先生が居られますが、先生は親しいアレキサンダー先生のお宅にいたポーポキともいいお友達だったので、ポーポキのブックカバーの作品が出されていました。布に赤い糸で、アレキサンダー先生が描かれたスケッチを基に可愛く刺繍されたものです。

花六甲の前 刺繍展の全体写真

その傍らには、アレキサンダー先生のご著書であるポーポキのピースブックも並んでいました。絵本『ポーポキ、平和って、なに色？』『ポーポキ、友情って、なに色？』が会場を訪れた方々の目に留まると、特に猫の好きな方は、アレキサンダー先生のサイン付きの本を買っていかれました。



ポーポキの本のコーナーとバザー風景



私たちはあなたに会ったことはなかったけれども、時々、瀬口先生を通してあなたの猫っぷりをお聞きしていたので、会期中、ポーポキが見守ってくれている気がして、改めて本の持つ力を感じました。積んでいた本が目に見えて少なくなるので、少し気になりだした頃、思いがけず、アレキサンダー先生が背中のリュックに本を背負って会場に来てくださるというハプニングもありました。

前回の刺繍展は、今から 18 年前で阪神淡路大震災の直後の三宮で道も建物もガタガタの中、東京でお稽古をしていた方々とも協同で致しました。それは、私たちの先生であり学友でもある青井さんがスウェーデンでの 3 年近い手芸留学からの帰国を記念するような形で行われたのですが、今回の刺繍展はその時以来でしたので、並んだ作品は、作った人の門から外へ一歩も出たことがなく、作品たちがなんとなく面映ゆげに並んでいました。

青井さんの作品



金子さんの作品



大きな木と空



はらぺこ青虫



楽しい空間



癒される空間



会場を訪れた方たちが「心が洗われた」とか「ほのぼのとした」とおっしゃってくださり、中には「癒された」と言ってくれる方も多く、それは、先生である青井さんと生徒の私たちの間の永年の友情の賜物ではないかと思います。

ポーポキが本の中で語っていたように、喜びや悲しみを分かち合い、お互いに助け合い支え合ってきた仲間だからこそ、醸し出せた色合いではないかと思います。

私は少々落ちこぼれの生徒で、月一度のお稽古に宿題などせずに、チャリティセ

ールの手作りに励んでいても、優しい友だち先生は、黙って目をつぶっていてくれました。今回もあなたの絵本の傍らでチャリティセールを致しておりました。これらの収益は、パキスタンのハンディキャップをもつ子供たちの施設とミンダナオ島の子供図書館に收容されている子供たちのために使わせていただきます。

最後に、私たちの作品展に協賛してくれた、今は亡きポーポキに感謝する気持ちで、私の拙い『胸にハートを抱く猫ちゃん』の刺繍を、ポーポキピースブック作者の先生にもらっていただくことと致します。

いろいろ有難うございました。

2013 年 10 月 9 日

伯母野山
金子 淳子

ポーポキがフリー刺繍展に参加

もうずいぶん前のお話ですが、ポーちゃんがお月さまのところに行ってしばらくしてから、ロニーさんは夢中になって色鉛筆でポーちゃんのスケッチを始められました。色鉛筆の先からいろんなポーズや表情をもったポーちゃんが次々生まれてきて、それは今にもスケッチブックから飛び出できそうでした。

そのようなある日、一冊の小さなスケッチブックを見せていただきました。大切に、ゆっくりページをめくると、なんとそこには、可愛いポーちゃんと一緒に「平和」について柔らかく語りかけるカラフルなメッセージがたくさんあり、思わず惹きこまれてしまいました。ポーちゃんとロニーさんが紡ぎだすスケッチとメッセージは、あくまでも温かくて優しいものでしたが、しっかりと心の奥にまで届くもので、胸が熱くなりました。

小さくても伝える力が強くインパクトのあるスケッチブックがあまりにも愛おしく思えたので、ブックカバーで守りたくなりました。

それで、どの場面がいいかしらとロニーさんに尋ねると、なんとポーちゃんが全身の毛を逆立てて「いやだ!!」と言っている場面!!! 思わず笑ってしまいましたが、確かに、いやなときに 大きな声で「いやだ」といえるのは 平和かもしれないですね。

フリー刺繍展にポーポキ&ロニーの参加を歓迎してくださった、青井先生、金子さんとその仲間みなさん、有難うございました。

ポーちゃん、ロニーさん、有難うございました。

瀬口 郁子

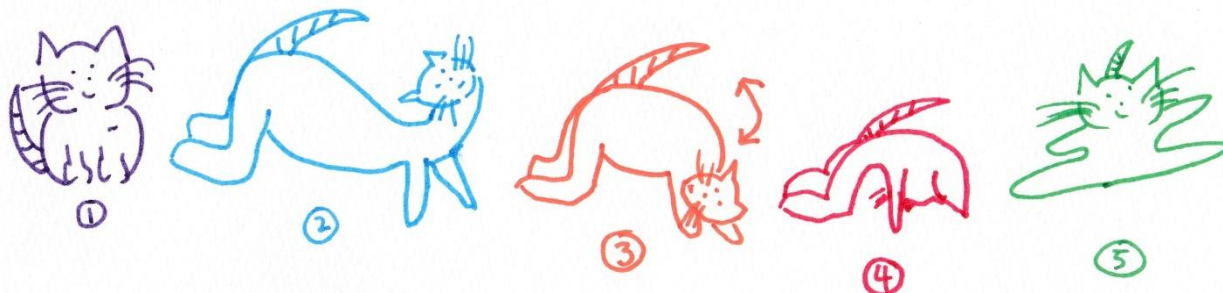
ブックカバー



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 65

今月のテーマは腰と首のストレッチです！



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. では、ねこになりましょう！よつんばいになって、腰をのばし首をうしろへ。しっぽは前へ。
3. 次は、腰を丸く上にあげながら、右をみましょう。そして、左。
4. 今度は、腰をさらに丸くして、お腹をみましょう！
5. できましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会 10月31日(木) 神戸YMCA 19:00-20:50

11.16 ポーポキの健康と平和ワークショップ「健康って、なに色？健康と平和について感じたり考えたりしませんか？」兵庫医療大学地域交流プロジェクト。14:00～(13:30 会場)。場所:兵庫医療大学地域連携室(神戸市ポートアイランド内)。どなたでも参加できるが、定員30名。会費:100円。問い合わせ先:兵庫医療大学・地域連携実践センター 080-6204-8793。要事前申し込み(お名前、ご住所、電話番号、緊急連絡先、小学生以下の場合は、その旨を明記。) FAX 078-304-2713 へお送りください。

12. 6-8 ポーポキ in 大槌町 - ワークショップ及びポーポキ友情物語展

12.24 ポー年会!!! (予定)

***今年(来年?)も映画祭を開催する予定。お楽しみにどうぞ！

ポーポキの友だちからのご案内

12.1 「誰とどんな風にくらしたい? 広がる家族観」13:30-16:00 リバティおおさか1F ガイダンスルーム。参加費:無料(ワンドリンク付き)。別途、リバティおおさか入館料500円が必要。主催:リバティしている?実行委員会、特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権。お問い合わせ: 06-6364-7677; eメール liberty.siteru@gmail.com

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8 面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22 面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4 面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1 面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO: 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Dachenchong, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに…」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って…考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面





私にとってのポーポキ

Taylor Hennessee

私が始めてポーポキに出会ったのは去年の桜の時期の末だった。初めて神戸に住むので、新しい友だちとの出会いを楽しみにしていた。日本滞在期間は短いと知っていて、精一杯すごしたいと思っていた。4ヶ月間はあっという間に経つと思って、学びの深い時間にしたかった。

ポーポキに出会う前に彼の友だちの一人に出会った。それは私のチューターをつとめていた人で、彼が最初から私を歓迎してくれて、言葉を交わす前にも他人ではなく、友だちとして認めてくれた。

ポーポキが素晴らしいと思うのは、心を開くことを教えてくれるからだ。人々の多様性を受け入れるように教えてくれるだけではなく、自分自身の心の中を見つめることもうながしてくれる。自分のことを知り、自らを受け入れることができる、他の人も受け入れることができるようになる。他の人を評価したり、違いを探したりすると障壁ができ、相手の心が見えなくなる。でも、眼差しを日常生活の中での小さな美しさに焦点を合わせることができれば、自分の中に小さな「平和のかけら」を見つけることができ、他の人にも美しさを見つけられるだろう。

ポーポキの友だちになる前は、心配してばかりいて、心を痛めていた。でも、今はわざわざ時間をかけて、経つ時間の詳細を認識して楽しんでいる。毎日平和を感じることができるが、その前に心を開かなければならい。学校へ向かって歩くとき、後ろから照らしてくる太陽の暖かさを「平和」として感じる。

私にとって、ポーポキの意味は、人生においての幸せな時はもちろんだが、しんどいときも受け入れることだ。

みんなが、生涯を通して、小さな素朴なことに宿る平和を感じることができますように。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!